

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	外来窮民救護事務			事業コード	0455
担当課等	所属名	保健福祉部 生活福祉課	担当係名		
	課長名	保健福祉部 生活福祉課	担当者名	高橋 圭一	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	暮らしを支える制度の充実と自立支援	コード 5
	基本事業	経済的自立の促進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 1目 外来窮民救護等事業(007-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 昭和62年度~)		
事務事業の概要	旅行、移動途中等で所持金を消費または紛失した者に対し、最寄りの鉄道駅までの乗車券及び食費を支給するものである。					
根拠法令等	盛岡市外来窮民取扱要領					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
外来窮民の救護を図ることを目的に、昭和62年4月施行の要領に基づき実施している。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特に無し。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
昨今の経済情勢の悪化ならびに景気回復の見通しが立たない現状により、申請者、給付額とも横ばいもしくは増加で推移するものと思われる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	旅行の途中などで盛岡市を訪れた際、所持金を消費又は紛失してしまい、目的地までの交通費等に困窮する者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 外来窮民数 B. C.	単位 人 単位 単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 盛岡駅前交番又は生活福祉課窓口にて本人の申立てに基づき鉄道の一ノ関駅、二戸駅、宮古駅、鹿角花輪駅、大曲駅までの交通費等(普通乗車券・食事代)を給付する。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 昨年度と同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 給付した交通費等の額 B. C.	単位 円 単位 単位
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	外来窮民に対し、目的地の途中までの交通費等を給付して、安全かつ速やかに到着できるように援助する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 目的地又は目的地の途中までの出発者数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】 C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位 人 単位 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	経済的自立が促進される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	自立世帯数(保護廃止のうち死亡・他福祉事務所への移管・失踪等を除く) (単位:世帯) 1人当たり平均年間受診件数(単位:件) 市営住宅における高齢者仕様住戸率(単位:%)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	外来窮民数	人	192	226	227	159	209	209	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	給付した交通費等の額	円	348070	444670	479447	287090	486970	486970	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	目的地又は目的地の途中までの出発者数	人	192	226	227	159	209	209	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	348	445	480	287	487	487	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	348	445	480	287	487	487	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	348	445	480	287	487	487	*****
	延べ業務時間数	時間	130	148	160	110	140	140	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	520	592	640	440	560	560	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	868	1,037	1,120	727	1,047	1,047	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:これ以外に対象の需要を満たす施策がない。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:生存権に関わる領域であり、生活保護に準じて市が扱うことが妥当である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:対象者を限定して実施している施策である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:拡大は目的外利用を誘発し、縮小は目的を達せられない。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由:最低限必要な成果の達成を企画する施策であり、向上を検討する余地はない。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:他に需要を満たす施策がないため、目的を達成できないことに加え、犯罪を誘発する可能性がある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:対象者の増減は時の経済状況によって影響を受けている。また、鉄道運賃は固定的なものであることから削減は困難である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:業務の大部分を警察に依頼している。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:突発的な金銭困窮者が対象である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:金銭困窮者に対する制度であるため、受益者負担はなじまない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革
改善
方向

- ①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)
※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること
- ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？
(関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)

5. 課長意見

一次
評価

- (1)一次評価者としての評価結果
- ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり
② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり
③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり
④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり



- (2)全体総括(振り返り、反省点)
旅行途中の不慮の出来事に対し、適正な救護を行った。

今後
の方向
性と
改革
改善
案

- (3)今後の事務の方向性(改革改善案)
- 終了 継続
 廃止 休止
- 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
 改革改善を行う
 事業統廃合・連携



方向付けの理由と改革改善の内容